

## 第41回埼玉地区教会全体修養会 報告と感想文とアンケート結果

### ① 報告

修養会委員長 金田佐久子

2013年8月5日から7日まで第41回埼玉地区教会全体修養会が開催されました。

修養会の主題は今年度の地区主題と同じく主にある交わりを深めよう」、副題は「共に生きる生活」、講師は吉祥寺教会牧師の吉岡光人先生、会場は軽井沢南ヶ丘倶楽部でした。参加者は75人（地区内23教会）、子ども9人、中学生1人、高校生1人を含みます。

吉岡先生には2回の講演をしていただきました。参加者の感想文から講演の様子が少し伝わっているのではないかと思います。心深く探られ、慰めに満ちた言葉をいただきました。

大人たちが講演と分団の時間を過ごしている間、子どもたちは、ルカによる福音書からザアカイさんとイエス様の出会いの物語を学びました。3日目の全体会では寸劇で発表をしてくださいました。

参加者からのアンケートを受けて修養会委員会で課題に感じていることを書かせていただきます。

- ・参加者が減っているのは、地区内教会が高齢化し、経済的に厳しいからではないか。
- ・地区教会全体修養会であるので、参加教会数が30を超えるくらいになることを願う。
- ・日程を早めに伝えているので、各教会で、行事の日程を調整していただけないか。教会から一人でも送り出していただけませんか。牧師の参加費を援助していただけないか。特に、埼玉地区に新しく着任した教職の参加を願う。

### ② 感想文

埼玉新生教会 今村静子

主題の「主にある交わりを深めよう」にひかれました。

交わりのおときを持つのは、かなり意識していないと、機会を逃がしてしまいます。ですから分団の時間、部屋に戻ってくつろいだときは貴重でした。分団で順番に考えを話す時は、整理しながら、言葉を選びながら多少の緊張のなかで話すことが出来ますし、他の方の話も受け止めることがしやすいです。

しかし、普段聴くとき“私はこう思う”という気持ちを横に置くように心がけますが、それでも“私は違う”“そうじゃないでしょう”と思いながら聴いている自分がいます。この傾向はかなり克服できているつもりでしたが、私のなかでしっかり生きているのに気づかされました。

講演のなかで、ひとりよがりの人生にならないように「聴くという奉仕」は大切とありました。“この人は、私に何を訴えようとしているのか”を聴くことによって、心の交流が生まれること。自分の問題に向き合うことによって、他の人にも向き合えるようになる、ということなど大切なことを、改めて教えていただいた三日間となりました。

聖学院教会 八木和子

主題と吉岡光人先生に期待を持って参加いたしました。おなじみの面々に再開する楽しみもあり、環境とお食事の魅力もあります。

講演Ⅰは主イエスの教え、使徒たちの宣教から、またボンヘッファーの「交わりの生活」を手がかりとして他者との交わり、隣人に奉仕することを学びました。講演Ⅱでは心を開いて人の声を聞くことの深い意味と重要性を教えられました。また自分自身の問題としっかり向き合わねば隣人への奉仕はできないことも知りました。教会での奉仕は主に仕えるという意味があること。なにげなく「聞いている」のではいけない、共にそこにいて、どんな小さな奉仕も神によって与えられた、尊い働きであることを忘れてはいけない、と教えられました。私自身カウンセラーとは縁遠いものでしたが、深く学ばれた方のお話を聞き、キリスト者であるからこそ、真のカウンセラー可能なのか、と認識を新たにいたしました。教会の中での交わりはこのような深い意味を心にとめ、日々祈りを持って行わねばならないのでしょうか。一日目の夜は笑いとともに、笑顔の大切さをお互いに分ち合い、二日目の夜は静かな夕べの交わりを感じました。

会場も時期も他に適当なところはないと思います。私も年齢を重ねると場所に不便を感じるかもしれません。が、二年に一回、皆さんに参加を呼び掛けて、出来たら続けていただきたいと、感謝と共にお願いをいたします。

軽井沢の三日間

上尾合同教会 吉岡幸子

初めて参加した修養会は、酷暑の上尾を離れ、実に楽しく又充実したものでした。

「主にある交わりを深めよう～共に生きる生活」と題しての吉岡光人牧師による講演は、前もって読んでいたハンドブックに対する疑問に全て答えてくれるものでした。特に「自分を愛することなしに隣人を愛することは欺瞞」であるということ、「聞くという奉仕そのものも神様によって用いられている」ということを忘れないこと、この二点が強く心に残りました。私に決定的に足りないところは、まさしく神様によって用いられているということをおぼわぬことだと思ひ至りました。しかし、悩み苦しんでいる人の話を聞くという現実と直面すると「神様によって」という事を忘れていた自分がいます。これから努力しつつ、試練を重ねて神様によって変えられる時を待つしかないのだと思っています。

清々しい空気を十分味わい、おいしい食事をいただき、他教会の方との交わりの時を持ち、軽井沢散歩も楽しんで帰って帰ることが出来たことに、又修養会を支えて下さった委員の方々に、感謝しています。

最後に、成長したT君に会えたことも軽井沢でのうれしかった事のひとつです。

交わりの中で

西川口教会 中2 小口 立桜

私は修養会に参加して、まず、印象に残ったのは、吉岡先生の説教です。説教で、自分自身の問題と向き合うと言うところです。その話の内容は、私の心に響きました。

賛美歌は、教会で歌っていて、知っている歌もありました。知らない歌もありましたが、歌えて楽しかったと思いました。

友達になった子は、16歳の女子でした。自由時間は、その子といっしょに外をぶらぶらしました。とても、楽しかったです。

たくさんの教会の人達が集まっていますが、その人達とも仲よく交わることができたので、いい機会だったなと思いました。前に、私の兄が来ていたらしく、私は知らなかったので、「景君によろしくお伝え下さい。」と何人かの人に言われてびっくりしました。

修養会に参加して

西川口教会

依田 英雄

羊飼イエス様の後を歩き始めて間もない私に、主が手を差しのべて修養会へお誘い下さいました。金田牧師を先頭に、金田温兄、田邊恵造兄、大野レイ子姉、小口立桜姉の皆様に囲まれて参加をさせて頂きました。

主題は「主にある交わりを深めよう～共に生きる生活～」講師は吉岡光人先生です。神様を愛すること、隣人を愛し伝えるキリスト者になること、それはどのようなことなのか、を学びました。

自分独りで神の愛を受け、罪の赦しを受け、感謝するのではなくキリスト者の皆様と共に、心から神を崇め、賛美、感謝し全ての兄弟姉妹と愛を共に生活することだと思いました。1日目の私は緊張から始まりましたが、講義が終わり部屋に戻り同室の方々と浴衣姿でくつろぎ、その中で東大宮教会の山ノ下恭二牧師が飾らぬ姿で私に話しかけてくださり、親しみが持てかなりリラックスができました。

分団では秩父教会の都築英夫牧師、大宮教会の疋田國磨呂牧師とも膝を交え語り合いました。

キリスト者と迎えられ、3か月の私を修養会に送り出して下さった皆様有難うございました。

### ③ 子供プログラム報告

上尾合同教会 真田美智子

1日目、子ども達は目と目を合わせず話をしていましたが、日に日に表情や、目の輝き、取り組む姿勢が変わってきて、目をしっかりと見て話を聞き、言葉を交わすようになってゆきました。2日目の岩佐先生の「子どもと礼拝」では、物音ひとつたてず、深い静けさの中で聞いていたのには驚きました。朗読劇の練習の時にも、字が読めなかったり、恥ずかしがって声が出ない友達のために、ほめたり、励ましてくれて、一緒にどうすればよいかを考えてくれてうれしく思いました。

蒔かれた種は必ず聖霊のお働きによって成長していきます。子ども達は大人の付属としてではなく、子ども達の特別なプログラムを用意して伝えることを願います。

何よりも楽しかった。子ども達も「楽しかった！」と言ってくれました。子ども達にも私たちの楽しい雰囲気、伝わったのではないのでしょうか。